

事務事業コード	772215	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772215				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
<p>鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、6区間21.095kmの区間で競走し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。</p> <p>・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊本地区・大島地区)計12チーム</p> <p>・参加選手 各地区より16名(選手は一般、大学生、高校生、中学生)</p> <p>・コース 霧島市隼人運動場をスタート→鹿児島神宮前交差点→鹿児島神宮入口交差点→木之房交差点→ホテル京セラ前交差点→河川敷→野口橋交差点→下井→野口橋交差点→ホテル京セラ前交差点→鹿児島神宮入口→鹿児島神宮前交差点→霧島市隼人運動場</p>						
補助金・負担金の交付先	株式会社 南日本放送		補助金の対象経費	県地区対抗女子駅伝大会の運営に要する経費		
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 交通誘導員設置人数		人	45	63	63	63
イ 中継所数		箇所	6	6	6	6
ウ コース美化距離		km	5	5	5	5
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192
イ 観戦者	市の人口	人	127,716	128,383	128,640	128,868
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 市民が安全に応援できる環境づくり	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア スポーツ活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化活動)に参加者のべ人数	人	57,100	61,070	62,684	64,583
イ						

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	2,430	2,400	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0			
	予算合計	2,430	2,400		
	決算額				
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,430			
	支出合計	2,430			
				昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県の女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域興しを目的に開始された。	地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。
				住民・関係者より、地元で開催されるため、選手強化を図り上位進出を目指してほしいとの声がある。	特になし

事務事業 コード	772215	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	県地区対抗女子駅伝競走大会運営委員会									補助金	2,430	補助金	2,400	補助金	2,400
										自主財源	7,720	自主財源	7,600	自主財源	7,600
										合計	10,150	合計	10,000	合計	10,000
										自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									補助金負担金合計	2,430	補助金負担金合計	2,400	補助金負担金合計	2,400	
									自主財源合計	7,720	自主財源合計	7,600	自主財源合計	7,600	
									自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
									合計								

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,430
補正予算	
合計	2,430

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772215	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	選手が安全で快適に走れるコースづくりを行い、また、市民が安心して応援できる環境を整えることで、多くの観戦者が増えスポーツに取り組みきっかけづくりにつながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県下トップレベルの女子駅伝大会であり、選手が安心して快走できるコースの整備や、中継所の設置、また応援する市民の安全確保のための交通誘導などを考慮すると市が関与しなければならない。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	県内12地区の代表選手及び応援する市民を対象とし、その選手が安心して走れる環境づくりまた、市民が安心して応援できる環境づくりを意図としている。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	県内唯一の大会として位置づけられ、選手が常に最高の実力を発揮できる環境を創出することは本市の使命である。現状の駅伝環境を水準が上限であると考えている。また、市民が安心して応援できる体制のため必要などころに必要なだけ交通警備員やボランティア員を配置している。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金を廃止することで、運営費用等に大きな影響を与えることや、大会の裏方としてコースの清掃や誘導補助がなくなることで本市での開催も困難になることが予想される。結果、他の協力を得られる市町への場所変更も考えられ、霧島市のスポーツ振興にとって悪影響が生じる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本大会はMBCテレビが主催する大会であり、補助金の削減についてはここ数年削減してきている。しかし主催者側からはこれ以上の削減は大会自体の開催を考慮しなければならない旨の回答がきており、削減余地はないものと考えている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	職員以外に体育指導委員や地元ボランティアの協力を得ている大会である。今後も協力体制を拡充し運営することで、将来的には人件費の削減余地はあると思われる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会に出場する選手・大会を応援する市民それぞれに対し公平・公正に費用が支出されている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	女子にとって県内最大の大会であり選手の育成やレベルアップに寄与している。補助金については、平成22年度までに段階的に見直し検討を行い、減額をおこなっているが、景気停滞による協賛金の減額等もあり大会運営が非常に厳しい状況である。しかしながら23年の伝統ある大会である点、霧島市を広く内外にアピールできる大会である点、また、市民のスポーツ活動への意識高揚につながる大会である点を総合すると、今後も継承・発展させていく必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
事業主体への補助金交付を行い、大会会場の整備、関与スタッフの手配、当日の運営補助等を行う。身近で行われる県レベルの大会を目の当たりにし、市民のスポーツ活動への意識高揚につながり、また、霧島市を広く内外にアピールできる大会である。	平成22年度と同様。

事務事業コード	772216	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 33 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772216				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
<p>市内の各地区ごとに体育祭や駅伝大会、バレーボール、ゲートボール等の大会を開催する事業。運営は市の教育委員会及び各地区教育振興課と各地区実行委員会等が連携して行っている。</p> <p>全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。</p>							
補助金・負担金の交付先	霧島市各地区スポーツ祭等実行委員会		補助金の対象経費	霧島市各地区スポーツ祭等の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	各地区スポーツ祭参加者数	千人		58	89	90	100
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市居住者及び勤務者	市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通じて親睦を図れた市民の数	千人	82	119	120	121
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツ活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(スポーツ・芸術・文化教室等)に参加したのべ人数	人	57,100	61,070	62,684	64,583
イ							

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	2,547	地域の活性化や親睦と融和を目的に、霧島地区(昭和33年~)・隼人地区(昭和44年~)・福山地区(昭和52年~)・溝辺地区(昭和58年~)・牧園地区(平成9年~)においてスポーツ祭が行われていた。		少子高齢化に伴い、地区によっては選手の選考に苦慮している地区公民館がみられる。
	補正予算				
	予算合計	2,547	2,287		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		参加者からは存続を望む声が多い。また、体育部長等からは選手集めに苦労しているとの声もある。		特になし
	地方債		霧島地区では昭和33年から続いている歴史ある事業のため、存続を望む声が多い。		
	その他				
	支出合計	2,547	2,547		

事務事業 コード	772216	事務 事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	国分地区スポーツ祭運営委員会									補助金	195	補助金	180	補助金	180
										自主財源	52	自主財源	52	自主財源	52
	合計									247	232	232			
2	溝辺地区スポーツ祭実行委員会									補助金	358	補助金	311	補助金	311
										自主財源	18	自主財源	18	自主財源	18
	合計									376	329	329			
3	横川地区スポーツ祭実行委員会									補助金	200	補助金	180	補助金	180
										自主財源	0	自主財源	0	自主財源	0
	合計									200	180	180			
4	牧園スポーツ大会実行委員会									補助金	310	補助金	295	補助金	295
										自主財源	33	自主財源	33	自主財源	33
	合計									343	328	328			
5	霧島地区スポーツ祭実行委員会									補助金	410	補助金	380	補助金	380
										自主財源	0	自主財源	0	自主財源	0
	合計									410	380	380			
6	隼人町健康づくり生涯スポーツ祭実行委員会									補助金	780	補助金	678	補助金	678
										自主財源	59	自主財源	59	自主財源	59
	合計									839	737	737			
7	福山地区スポーツ祭実行委員会									補助金	166	補助金	263	補助金	263
										自主財源	79	自主財源	79	自主財源	79
	合計									246	342	342			
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計									0	0	0			
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計									0	0	0			
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計									0	0	0			
計									0人	補助金負担金合計 2,419	補助金負担金合計 2,287	補助金負担金合計 2,287	補助金負担金合計 2,287		
									自主財源合計 240	自主財源合計 241	自主財源合計 241	自主財源合計 241			
									自主財源率 9%	自主財源率 10%	自主財源率 10%	自主財源率 10%			

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	対象 地区	全市	国分				全国	九州	県	その他	
1	負担金額										
2	負担金額										
3	負担金額										
4	負担金額										
5	負担金額										
合計				0	0	0	0	0	0	0	0

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,547
補正予算	0
合計	2,547

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772216	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日頃運動をされていない方がスポーツ祭を通じて親睦を図ることができ、スポーツ祭が運動やスポーツに取り組むきっかけとなっていると考えられる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がいつでも、どこでも運動を楽しむことができる生涯スポーツの環境づくりを図ることは市の責務であり妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	主に市民が対象であるが、地区や競技によっては地区内の事業所の従業員、学校の教師等も加わっている。意図としては、市民の親睦を図ることがスポーツに取り組むきっかけのひとつになると考えられることから適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	大会参加者はどこの地区も固定化しつつあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要であるとされる。参加者数としては、平成21年度より国分地区・横川地区で開催されたばかりであり、今後も増加余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	スポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されると親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、結果として地域が寂れていくと感じる市民が増えることが想定される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の職員で対応しており、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しくあり公平である。公民館に加入していない方については、大会が地域対抗で行われることから基本的には参加できないが、公民館に加入すれば参加できるため不公平とはいえない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 大会運営については、平成21年度より行政主体から地域主体になりつつある。しかしながら大会への参加については自発的なものも増加しているが、お願いされての参加が多いようである。そのため誰でも参加できるような又は年代層で参加できるような競技種目への変更も必要ではないか。なお、補助金については、各地区ギリギリの予算で行っていると思われるが、今後自発的な参加が増えた場合、参加料の徴収等も考えていくべきであるとする。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
3 今後の方向性 <PLAN>			
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性		(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由	
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要			
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか			
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 各地区スポーツ祭実行委員会への補助金交付、実行委員会への助言、指導を行い、自主的な運営が図られることを期待している。		平成23年度に取り組むべき具体的な内容 実行委員会が主体的に取り組むよう働きかける。	

事務事業コード	772220	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 3 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772220				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行なっている。また、舞鶴なべの無料提供などを別途実施している。 ・種目 ジョギングの部 3.0km (一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、小学男子、小学女子) 駅伝の部 一般男子エリート 5区16.2km、一般男子7区9.8km、一般女子・混成・中学男女7区9.8km、小学男女9区9.9km ・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)2,000円/人・中学生以下1,000円/人 駅伝の部 一般(中学生以上)6,000円/チーム・小学生 4,000円/チーム 主催は、縄文の森駅伝大会実行委員会です。市は補助金を交付している。							
補助金・負担金の交付先	霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会		補助金の対象経費	縄文の森駅伝大会実行委員会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	駅伝・ジョギング参加者数	人	2,130	2,092	2,200	2,300	
イ	ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	6	6	6	6	
ウ	駅伝コース(部門)の数	コース・部門	8	8	8	8	
対象 (誰、何を対象しているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	2,130	2,092	2,200	2,300
イ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	人	2,130	2,092	2,200	2,300
イ	上野原縄文の森を知ってもらう	来場者数(イベント参加者数)	人	6,000	6,000	6,500	6,500
ウ		※ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える					
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化活動)に参加者のべ人数	人	57,100	61,070	62,684	64,583
イ							

(2)事業費

単位：千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	2,207	平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。	平成7年の第4回大会より協賛金をつり規模拡大している。平成10年3月に上野原テクノマラソンに名称変更。平成15年第12回大会より上野原縄文の森がオープンしたことにより国分縄文の森駅伝へ名称変更。また、20年度より大会名称から国分を省き、縄文の森駅伝大会へと変更。
	補正予算額			
	予算合計	2,207		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	2,207		
支出合計	2,207	<参加者>⇒ジョギングへの意見(コースを延長してほしい。)駅伝への意見(区間のタイムを計測してほしい) <関係者>⇒駅伝終了後、抽選会の参加者を増やす方法の検討が必要。縄文の森という場所を考慮し様々なイベントが自然・環境面を考慮するよう工夫が必要。	特になし	

事務事業 コード	772220	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市・縄文の森駅伝大会実行委員会									補助金	2,207	補助金	2,500	補助金	2,300
										自主財源	2,367	自主財源	2,400	自主財源	2,300
										合計	4,574	合計	4,900	合計	4,600
									自主財源率	52%	自主財源率	49%	自主財源率	50%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									補助金負担金合計	2,207	補助金負担金合計	2,500	補助金負担金合計	2,300	
									自主財源合計	2,367	自主財源合計	2,400	自主財源合計	2,300	
									自主財源率	52%	自主財源率	49%	自主財源率	50%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
1											
2											
3											
4											
5											
合計											

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,207
補正予算	
合計	2,207

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772220	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	参加者が健康づくりやスポーツを楽しむためのきっかけとなる大会であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の健康づくりの場として大会を行うことにより、健康を維持するよいきっかけであり、また、縄文の森で開催することで、上野原縄文の森を広くPRすることができるため、市が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在の大会参加者には、霧島市民のみならず駅伝・ジョギングを楽しみたい市外の方も含まれている。年々参加者も増えているイベントであるので、ジョギングや駅伝を楽しんでもらい、上野原縄文の森を知ってもらうという現状の意図を継続することが望ましい。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	参加者や大会関係者の声を十分に検討し、より良い大会運営に心がけ、また、できるだけ広く周知することで参加者を増やすことが可能である。参加者を増やすことによる競技役員への負担についても検討する余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	駅伝やジョギングを楽しむ機会や日頃の成果を計る機会が少なくなる。中学生に関しては、市内で参加できる駅伝大会が無くなる。少年団や会社等で気軽に参加できる親睦の場がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は全てが補助金額となる。大会の運営費は市の補助金のほかに、市内の多くの企業や事業所から協賛を頂き運営している。市が補助金を下げることで参加者の負担や協賛者側の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併後、運営に携わる担当職員が減っている現状にあり、やり方を十分検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまでも、中・高校生・体育指導委員など職員以外の方々の協力を得て開催してきた大会である。市職員は、前日、当日の受付、運営だけでなく大会の企画、PR、協賛金の募集活動などの事務全般を担っている。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が主催する唯一のスポーツイベントであり、霧島市及び縄文の森のPRも兼ねたものである。その為公費約50%投入は妥当であり、公平・公正である。参加(見学も含め)することで受益機会は平等であると考えられる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 本大会は、一般も参加でき、少年団や中学生等のお別れイベントや会社等でのレクリエーション等での参加も多い大会である。また参加人数も昨今の健康ブームもあり少しずつではあるが増加傾向にある。補助金を年々減少させているが、参加料の増額を行うことは青少年の参加が多いことから難しい。毎年挙げられる改善項目については、出来る範囲で改善している。但し、参加者を増やすことについては、一方では競技役員への負担を伴う。その改善策として、計測器の導入が考えられるが、それも費用的に難しい状況がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 平成22年度は第20回となる大会であり、また市制5周年の記念大会でもある。参加者の増は勿論のこと、記念大会にふさわしいゲストランナーの招致等を行い成果の向上を図る。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 参加者を増やす手立てを講じる。

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島の自然を写した写真を公募し、優秀作品を展示することで、郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらう。 手順 ①開催要綱の決定 ②募集チラシの作成・広報 ③応募作品の審査 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)			展示期間	2月10日~2月23日	巡回展	2月24日~3月30日
賞			応募総数	202点	応募者数	83名
			平成22年度計画			
			展示期間	2月10日~2月22日	巡回展	2月23日~3月30日
			応募総数	250点	応募者数	100名
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	出品点数	点	212	202	230	250
イ	出品者数	人	94	83	100	110
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ	県民	人	774,000	773,000	773,000	773,000
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	写真に対する関心を高めてもらう	人	500	1,700	1,750	1,800
イ	写真に対する関心を高めてもらう	人	94	83	100	110
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	273	262	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ デジタルカメラの普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。
	補正予算額	0			
	予算合計	273	262		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 合併に伴い、旧市町の写真展がそのまま引き続き開催されている。集約して開催の方法を検討する必要がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	262			
	支出合計	262			

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬	170		170	190		190	190		190
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	92		92	72		72	72		72
消耗品費	31		31	10		10	10		10
燃料費									
食料費									
印刷製本費	61		61	62		62	62		62
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	262		262	262		262	262		262

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	262		262	262		262	262		262
計	262		262	262		262	262		262

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	273千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	273千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	写真展の開催は、写真をとおして郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらうことを目的としているため、政策に一致する。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の自然や伝統行事、産業、人々の暮らし、環境、ジオパーク等をテーマにした写真展はないため。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は霧島市を含めた県民としており、意図についても写真展をとおして霧島市の豊かな風景等の再発見や写真に対して関心を深めてもらうこととしているので、妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	写真展の周知化をこれまで以上に取り組むことにより、応募数や鑑賞者の人数を増やすことが可能である。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	写真展の類似事業はあるが、いづれも限られた人の参加(写真クラブ)や限定されたテーマにであり、きりしま写真展のように幅広いテーマで応募する写真展はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 夏祭り写真展・エアポート写真展・藤まつり写真展等との連携は可能である。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は写真展の周知・公募を図るためのチラシの作成と写真審査に伴う報償費が主な内容であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	文化協会加盟の写真同好会等が中心となった実行委員会での取り組みも考えられる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、写真展を市民ギャラリーの開催や各地区での巡回展を行なうことでより広く市民に鑑賞の場を提供している。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	これまで5回の写真展を開催しているが、撮影ポイントが限られてきており、応募者等も特定された感がある。 しかし、写真撮影の技術や構成(アングル)などは年々向上してきており、写真展の成果は少しずつではあるが、上がってきている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
①きりしま写真展の開催(巡回展を含む) ②他事務事業との連携 霧島市民音楽祭 エアポート写真展との合同展示 霧島市市制5周年記念事業(検討中) 多くの市民に写真展を見ていただくことにより、霧島市の新たな発見や写真の魅力に触れていただく。と言った効果が期待される。	これまで入選した写真の活用やこれまで以上に他事業(夏祭り、文化祭)との共同開催を進めて行く。

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		
	コード	774211			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。今回は〜めざせ! ジオパーク〜をサブテーマとして、環霧島の地質遺産を取り入れた作品も加えて募集した。 実行委員会を組織して次のような業務を行なう。 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) ③審査 ④入賞作品展示→表彰式 ⑤搬出 ⑥実行委員会(精算事務)			展示期間	9月16日~25日	会場	国分シビックセンター
			応募総数	305点	応募人数	188人
			入選以上	143点	平成22年度計画	
			霧島市制5周年を記念として、霧島美術展にこども絵画展部門を組入れた。 自由部門 テーマ部門 霧島の特徴を取り入れる こども絵画部門 わたしたちの霧島市			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	出品点数	点	311	305	977	1,000
イ	出品者数	人	183	188	903	930
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民及び美術愛好家	市民の数	人	127,450	127,662	128,640
イ	県民及び美術愛好家	県民の数	人	774,000	773,000	773,000
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民の美術に対する関心を高める	美術展入場者数	人	748	1,000	1,400
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	市主催事業の参加者数	人	20,633	24,104	23,143
イ						

(2)事業費 単位:千円

予算額	当初予算額	1,275	1,175
	補正予算額	0	
	予算合計	1,275	1,175
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,171	
	支出合計	1,171	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	平成21年 第1回定例議会 「霧島市美術展の今後について」 ・霧島市美術展がスタートして5回を数えるが、現状と課題について。 ・霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか。

事務事業 コード	774211	事務 事業名	霧島美術展開催事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	1,275 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,275 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながり、市民が芸術文化活動に取り組むきっかけとなる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象に、美術への関心を高めることを目指しており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	展示場所や展示方法を工夫することにより、美術作品に触れる人を増やすことは可能である。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成19年度に出品料を値上げしており、今後の出品料の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の作成について、用紙・内容の変更や配布先・配付方法の見直しをしたり、賞品数の減により事業費の削減は可能である。
C 効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	以前は職員対応としてきた、絵画の搬入・搬出作業や事務入力作業を、外部に委託することにより、職員の業務時間を削減した。
	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民を対象に開催されており、適正である。
D 公平性 評価	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島美術展も6回を数え、恒例行事として定着しつつあるが、まだまだ周知化を図る必要がある。また、展示会場のスペース、審査から展示までの日程、職員の事務量の削減はこれ以上望めないが、事業費については削減や広告料収入など見直す必要がある。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果 ・経費確保のため、平成22年度から広告収入を検討することとなった。 ・こども絵画展も同時開催とした。 ・展示方法の工夫 経費の削減を進めるとともに、市民に関心がもてる美術展としていきたい。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 ・広告収入の確保 ・広報活動の充実(ケーブルテレビ等) ・展示方法の工夫

事務事業コード	774218	事務事業名	自主文化事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774218			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市内の文化施設を活用して、優れた舞台芸術及び演奏会等の芸術鑑賞事業を開催する。 主な手順 ①事業の選定 ②業務委託 ③広報活動及びチケット販売 ④事業の開催 ⑤事業費精算 事業費の主なもの ○公演委託料 ○ポスター・チラシ・チケット印刷 ○著作権使用料 ○チケット販売手数料 など			○アグネスチャンおしゃべり&Xmasコンサート ○清水ミチ子トーク&ライブ				
			平成22年度計画				
			○トーク&ライブ(検討中) ○劇団四季こころの劇場				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	3	2	2	2	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	優れた舞台芸術に触れてもらう	舞台・演劇・コンサートの入場者数	人	2,870	1,083	2,000	2,000
イ	"	舞台・演劇・コンサートの入場者数の内、次回も鑑賞したいと思った人の割合	%	未把握	未把握	72	74
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	7,103	21年度(決算)	4,125	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 文化施設を活用した文化事業を展開し、市民に広く芸術文化に触れる機会の充実を図ることを目的に開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 余暇時間の増大や情報化、国際化の進展に伴い、生活スタイルや価値観が変化し、物質的充実から生きがいやゆとりといった精神面の豊かさを求める方向に変わっている。
	補正予算額	0					
	予算合計	7,103		4,125			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自主事業参加者アンケートによると、多様で高度な芸術文化事業を低料金で開催してほしいという意見がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	2,118					
	一般財源	4,748					
支出合計	6,866						

事務事業 コード	774218	事務 事業名	自主文化事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	195		195	125		125	125		125
消耗品費	5		5	15		15	15		15
燃料費									
食料費	3		3	15		15	15		15
印刷製本費	187		187	95		95	95		95
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	158		158	157		157	157		157
通信運搬費									
広告料									
手数料	158		158	157		157	157		157
保険料									
13 委託料	6,380		6,380	2,600		2,600	5,000		5,000
14 使用料及び賃借料	133		133	1,243		1,243	1,500		1,500
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	6,866		6,866	4,125		4,125	6,782		6,782

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	2,118		2,118	1,875		1,875	3,000	
一般財源	4,748		4,748	2,250		2,250	3,782		3,782
計	6,866		6,866	4,125		4,125	6,782		6,782

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	7,103 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	7,103 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774218	事務事業名	自主文化事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は、芸術文化に対する造詣が深まり日常生活にゆとりと潤いを与え、芸術文化活動に取り組みきっかけが得られることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、市が優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術を自発的に鑑賞する機運を高めてもらうためにおこなうものであり、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	自主文化事業の内容を市民により詳しく周知すると同時に、市民ニーズを的確に捉えた事業の選定を行い事業を実施することで、より多くの市民が鑑賞することにつながる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	芸術文化に関心の薄い市民に対して舞台芸術を鑑賞する機会を提供できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	単独コンサートの開催ではなく、ツアーや南九州での他市町村との連携を図った企画を実施し、旅費などの経費削減に努めている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	公演当日の運営スタッフを市民ボランティアをお願いすることで削減できる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	採算を優先させると内容が偏るため、各種ジャンルの催し物を計画的に実施し、鑑賞者の対象年齢や市民の鑑賞ニーズを的確に捉え幅広く市民に鑑賞機会を与える。

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	これまで開催した自主事業においては、集客に苦慮している。事業の選定については、アンケートを取るなどして、より市民ニーズを的確に捉えた種目を選定する必要がある。 また、実行委員会等を組織し、多くの市民が参画できるような体制を作って行きたい。

3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度は一般市民向けの自主文化事業(有料)と劇団四季による舞台公演「こころの劇場」を市内の小学校6年生全員に観賞させ、生の舞台芸術に触れる。 ○トーク&ライブ(検討中) ○劇団四季こころの劇場 期待される効果としては、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供することで、芸術文化に対する造詣が深まり日常生活にゆとりと潤いを与え、文化の香り高いまちづくりに繋がる。 また、平成23年度の実施に向けてアンケートを取り、市民のニーズを把握することに努める。	自主文化事業の推進をこれまで行政主導で実施してきた体制を、今後実行委員会方式を取入れるように進めて行く。 また、事務量軽減を図るため、公演当日のスタッフを市民ボランティアをお願いする。

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774215				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。

【活動内容】

合唱団は市内の小学1年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。

霧島市少年少女合唱祭の開催や鹿児島県合唱連盟合唱祭、地区の文化祭等に出演している。

【事務事業】

補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	霧島市少年少女合唱団	補助金の対象経費	124,000				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	演奏会等の出演回数	回	9	6	6	7	
イ	練習回数	回	32	34	32	33	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	児童数	市内の小学校に在籍している児童の数	人	8,126	8,053	7,821	7,700
イ	生徒数	市内の中学校に在籍している生徒の数	人	4,010	3,975	3,931	3,900
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る	少年少女合唱団員の数	人	34	40	43	45
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	霧島市主催事業の参加者数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	124	22年度 (予算)	112	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	この事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額						
	予算合計	124	112				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	112					
支出合計	112						

学校週5日制(隔週)の導入に伴い、合唱による児童生徒の健全育成を推進するために、平成8年度に旧国分市を中心に結成された。

文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。

この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？
準人及び横川地区は教室として平成20年度まで実施してきたが、その後横川地区の合唱団は自主事業として活動してきた。現在は霧島市少年少女合唱団のみが活動しており、今後は霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。

この事務事業に対する議会から出された意見
特になし

事務事業 コード	774215	事務 事業名	青少年少女合唱団運営事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市青少年少女合唱団									40人	補助金	124	補助金	112	補助金	112
											自主財源	314	自主財源	310	自主財源	310
	合計										438	422	422	73%		
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
計										40人	補助金負担金合計	124	補助金負担金合計	112	補助金負担金合計	112
											自主財源合計	314	自主財源合計	310	自主財源合計	310
											自主財源率	72%	自主財源率	73%	自主財源率	73%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	124
補正予算	
合計	124

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	合唱団の設置により、年間を通じて合唱の練習に取り組むことは音楽環境の充実と青少年の健全育成につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	音楽環境の充実による文化芸術の向上と、団員の音楽の向上並びに健全育成を図ることは、本市の役割であり活動補助金の支出は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市内のすべての小中学生であり、意図も音楽文化の向上を目指しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	合唱団員を募集して団員を増やすことにより、より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことができる。また、子どもたちが異年齢の集団の中で活動することは、仲間づくりや青少年健全育成の向上に期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金の交付廃止により合唱団活動の停滞が予想される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、合唱団員の負担金は会費6,000円、保険料1,000円であり、事業費の自主財源率も70%を越えていることから、現状が妥当である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、職員の事務は補助金交付に伴う手続きと、合唱団運営のための一部の事務作業であり、近年合唱団の保護者による保護者会を設立・充実させたことから、担当職員の事務量の大幅な削減がなされた。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	団員の募集は市内の全学校の児童生徒を対象にしており、また全体事業費の自主財源率が70%をこしていることから、公平である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 少年少女合唱団の活動については、年間をとおして練習や合唱祭、老人ホームへの慰問など活発に活動しており、十分に事業の目的に達していると考えている。その中であって、合唱団保護者会のより充実した活動ができるような指導を進めていきたい。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・主な取組み 鹿児島県合唱祭の参加 白い歌青い歌フェスティバルの参加 創立15周年記念演奏会の実施 ・期待される効果 音楽(合唱)の素晴らしさを市民に広めることができる 合唱団の活性化 団員の音楽(合唱)技術の向上	・より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことで合唱団の活性化を図り、合わせて団員の参加者を増やす。 鹿児島県合唱祭、白い歌青い歌フェスティバル等の参加 定期演奏会の実施

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774220			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。 霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館(みそめ館)等のホールにて、芸術鑑賞会を実施する。 事務手続き 県への開催希望申請 → 内定 学校との調整(送迎バスの調整等)実施			内容 みやまコンセール「おとどけコンサート」 鑑賞者 997人 平成22年度計画 内容 鹿児島オペラ協会 ~歌の贈り物~ 鑑賞者 1,120人(予定)				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	2	2	2	2	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市内の中学生	中学3年生の数、引率する教員の数	人	1,361	1,437	1,320	1,304
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	入場者数	人	1,507	997	1,120	1,320
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	舞台鑑賞して感動した生徒の割合	%	未実施	未実施	70	75
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	904	22年度(予算)	879	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0					
	予算合計	904	879				
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	647					
	支出合計	647					

平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。
 合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より中学生のみを対象とする事業となっている。
 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	4		4	5		5	5		5
消耗品費	4		4	5		5	5		5
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	21		21	42		42	42		42
通信運搬費									
広告料									
手数料	21		21	42		42	42		42
保険料									
13 委託料	300		300	300		300	300		300
14 使用料及び賃借料	322		322	532		532	650		650
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	647		647	879		879	997		997

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	647		647	879		879	997		997
計	647		647	879		879	997		997

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	904千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	904千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての中学3年生を対象として、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。

B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	中学校在学中に市内全生徒を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した生徒も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、さらに舞台内容の検討し、より良く効果が上げられるようにしていきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	中学生の芸術鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組むきっかけが減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)

C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公演委託料のかからない県の事業を利用していることや、同日に2回公演をするなどして経費の削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする必要最小限の事務量である。

D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年健全育成の面からも霧島市内中学生への鑑賞機会提供は公平・公正である。
----------------	---	---	---------------------------------------

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	中学生という多感な時期に、生の音楽や舞台芸術に触れることは大変意義のあることと考える。今後も事業の確保に努めながら、内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・舞台内容: 鹿児島県オペラ協会「歌の贈り物」 ・場所: 霧島市民会館、みそめ館 ・対象者: 市内中学校3年生全員 ・生の優れた舞台芸術を鑑賞することで創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	平成22年度と同様に、市内の全中学3年生を対象に実施していきたい。

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774221			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
文化・芸術に接する機会の少ない児童に生の優れた児童演劇等の舞台を鑑賞させることにより、豊かな心を養成する。 県が進めている市町村による青少年劇場を活用し、霧島市内の小学生を対象に、各学校の体育館で実施する。 各学校には3年で1回の鑑賞機会を提供できるように配分をしている。			劇団風の子九州「なるほ堂ものがたり」 牧園小、三体小、万膳小、国分西小 人形劇団クラルテ「あらしのよるに」 国分北小、川原小、木原小、陵南小				
事務手続き ①県への開催希望申請 → 内定 ②学校との調整(日程調整、体育館の確認、複数校の鑑賞の場合はバスの手配等) ③実施			平成22年度計画 神田 将「電子オルガンコンサート」 国分小、国分南小、平山小、塚脇小 横川小、安良小、佐々木小、大田小 霧島小、永水小、富隈小				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	公演の回数	回	8	5	5	6	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市内小学生	霧島市内小学生の数	人	8,126	8,053	7,821	7,800
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	舞台鑑賞児童数	人	2,750	1,985	2,510	2,639
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	舞台を鑑賞して感動した児童の割合	%	未実施	未実施	70	75
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組みきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費 単位:千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	
予算額	当初予算額	2,627	1,797
	補正予算額	0	
	予算合計	2,627	1,797
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,767	
	支出合計	1,767	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
各市町でそれぞれのやり方で開催されていたものを、合併を機に市内のすべての小学校児童に公平に6年間で2回は鑑賞できるように開催するようにした。	合併に伴い、対象校並びに鑑賞対象者数が大幅に増加した。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
青少年に優れた芸術を鑑賞させることは創造性を育むために非常に大切である。一学校一	特になし

事務事業 コード	774221	事務 事業名	青少年劇場開催事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費							126		126
通信運搬費									
広告料									
手数料							126		126
保険料									
13 委託料	1,654		1,654	1,575		1,575	1,890		1,890
14 使用料及び賃借料	113		113	222		222	250		250
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266
計	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	2,627 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	2,627 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての小学生を対象として輪番で、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	小学校在学中に市内全児童を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した児童も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、より充実を図るため、公演内容を検討していきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	小学生の鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに取り組むきっかけが減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	旧市町で地区分けをし、児童規模の多い学校を会場とし、そこへ近隣の規模の比較的小さな学校の児童を集めて公演を実施しており、公演数の削減、バス借上げ料の削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	開催時は学校側で対応することから、職員は開催申請や県や公演団体と各学校の日程調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	輪番で3年に1回は芸術鑑賞の機会があることから公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生在学中にすぐれた舞台芸術等に触れることは、子供たちの心身ともに健康な成長に大きく寄与すると考えている。 今後も事業を確保しながら、内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・公演内容: 神田将オルガンコンサート ・公園場所: 富隈小、横川小、国分小、大田小、国分南中 ・優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	・優れた舞台芸術の提供。

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 55 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774223				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。

【活動内容】

霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。

期間 7月17日から8月3日(16日間)

主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・財団法人鹿児島県文化振興財団

共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会

【事務事業】

補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	財団法人ジェスク音楽文化振興会	補助金の対象経費	霧島国際音楽祭の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア 演奏会の回数	回	22	46	6	6	
イ 講習会の回数 (クラス・コース)	回	17	19	17	17	
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 市民	本来は県内外を対象としているが、ここでは市民を対象とした	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 音楽祭を通して、音楽鑑賞の普及に努める	音楽を鑑賞した人数	人	10,181	14,047	11,500	12,000
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	霧島市主催事業等の参加者数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ						

(2)事業費

単位：千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	7,466	1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。	合併前に旧牧園町及び霧島町から支出していた補助金を新市に引継ぎ同額を補助している。市民の音楽祭への参加のあり方が問われている。
	補正予算額			
	予算合計	7,466		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	7,466		
支出合計	7,466	国内外で評価の高い音楽祭であるが、市民の音楽祭に対する関心が低く、演奏会への参加も極端に少ない。今後、演奏会への集客を図るため、市民に親しまれる演奏会とするための内容検討を求められている。	平成20年度 第2回定例市議会 「霧島国際音楽祭における本市の文化政策の位置づけについて」	

事務事業 コード	744223	事務 事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業						担 当 部	教育部
									担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	財団法人ジェスク音楽文化振興会									補助金	7,400	補助金	7,000	補助金	7,000
										自主財源	70,973	自主財源	68,125	自主財源	65,125
	合計									78,373	75,125	72,125			
自主財源率									91%	91%	90%				
2	霧島国際音楽祭シンフォニーの丘のピュッフェパー ティーinみやま実行委員会									補助金	66	補助金	66	補助金	66
										自主財源	1,144	自主財源	1,134	自主財源	1,134
	合計									1,210	1,200	1,200			
自主財源率									95%	95%	95%				
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
計									補助金負担金合計	7,466	補助金負担金合計	7,066	補助金負担金合計	7,066	
									自主財源合計	72,117	自主財源合計	69,259	自主財源合計	66,259	
									自主財源率	91%	自主財源率	91%	自主財源率	90%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	7,466
補正予算	
合計	7,466

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は音楽祭の演奏会を鑑賞する市民であり、意図については音楽祭を通して音楽鑑賞の普及に努めていることから妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	講習会と演奏会がセットになった音楽祭である。受講者数は伸びているが演奏会への入場者は横ばいの状況である。演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	国内外で評価の高い音楽祭であり、街づくりにマイナスイメージを与える。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで可能であると思われる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 昭和55年の開始以来、本年は30回を数え国内有数の音楽祭として定着してきている。しかし、一般市民から見ると一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強く、今後さらに市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
総括の中で、一般市民から見ると一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強く今後市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある、と指摘したことを鑑み、下記のような事業に取り組む。 ①エアポート・コンサート 金管・チェロのミニコンサート ②ワンコイン・コンサート 仲道郁代と訪ねる生誕200年ショパンの旅	市内の児童生徒を中心に、世界的著名な音楽家から指導が受けられる講習会(クリニック)を開催することにより、音楽の楽しさと音楽技術の向上を図る。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774226			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭招待アーティスト等と市民の参加する市民音楽祭を開催する。市民音楽祭に出演する団体とゲスト演奏家との共演や、専門家としての音楽指導(クリニック)を行うなど交流を図る機会を提供する。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 【事務内容】 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・各事務精算			開催日:7月20日(月祝) 会場:みやまコンセール 出演数:6団体 入場者数:770人				
			平成22年度計画				
			開催日:7月19日(月祝) 会場:みやまコンセール 出演数:6団体 入場者数:744人				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	音楽祭出演団体数	団体	9	6	6	6	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市民音楽祭に関心を持ってもらう	市民音楽祭を鑑賞した人の数	人	700	770	744	760
イ	霧島国際音楽祭に関心を持ってもらう	霧島国際音楽祭を鑑賞した人の数	人	10,181	14,047	11,500	12,000
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費		単位:千円	(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	1,620	1,420	霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。
	補正予算額	0		
	予算合計	1,620	1,420	
決算額	国庫補助金	0	この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,620		
	支出合計	1,620		
			小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420
計	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	1,620 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,620 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を開催することによる舞台芸術活動の発表機会と鑑賞機会の提供は、日常生活に生甲斐と潤いを与え、文化の薫り高いまちづくりにつながり妥当である。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くため、市の関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより音楽の良さを再認識することができ、また、出演者も市内で活動している団体に広く呼びかけていることから妥当である。

B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	市民の参加者状況は良好で満席となっており、来場された方々も非常に満足して帰られるので十分成果は出ているが、今後はより成果を上げるため、出演団体の選出等に配慮をしていきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が参加する演奏会であり、舞台芸術活動の発表機会や鑑賞機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)

C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	出演団体のリハーサルを前日に実施していたが、日程の調整を図ることで、音楽祭当日のみとすることで、バスの借り上げ料などを削減する。また、企業との連携等により、事業PRのためポスター、チラシに広告を掲載し、経費の削減に努める。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に運営委員会(実働)を設置し開催時の役割分担を図り、職員の負担軽減に努めることができる。

D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民全体に呼びかけて、開催するため公平である。
----------------	---	---	-------------------------

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。また、邦楽や民族音楽等の出演にも心がけ、幅広い音楽に触れる音楽祭をしたい。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
これまでの市民音楽祭にはなかった、ゲスト出演者による音楽指導(クリニック)を実施する。 (国分中央高校吹奏楽部) 日本を代表する音楽家による指導により、演奏技術の向上はもとより、吹奏楽に取り組む考え方も含め、大きく成長していくことを期待したい。	市民音楽祭にふさわしく、あらゆるジャンルの音楽に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していきたい。 また、平成22年度に引き続き、市内でのクリニックを実施していきたい。

事務事業コード	772213	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ振興法
	コード	772213			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内32箇所・屋外34箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外13箇所) 合計92箇所 申込み方法: 国分地区においては各地区公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。 開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。 受益者負担: 国分地区においては公民館、他の地区においては学校へ直接確認。			<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体延数: 333団体 ・利用延人数: 243, 599人 ・体育館については、今まで地区により使用料の設定してないところがあったため、条例改正(H22年10月施行)を行い、整合性を図った。 			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	開放した学校の体育施設の数	施設	92	92	93	93
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人口	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツ活動ができる	延人	223,717	243,599	246,200	246,200
イ		団体	246	333	336	336
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツや芸術活動を行う環境が整う	%	42.9	42.7	42.0	43.0
イ						

(2)事業費 単位:千円

	21年度(決算)	22年度(予算)
予算額	当初予算額	2,412
	補正予算額	0
	予算合計	2,412
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,025
支出合計	2,025	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和36年に制定されたスポーツ振興法第13条で、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するように努めなければならないこととされており、これに基づき昭和40年から学校開放施設整備の取り組みを開始した。	体育施設が建設されてから年数が経過しており、整備・改修を要する施設が増えている。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
<利用者>⇒利用報告書が複雑なため簡素化してほしい。人口密度の高い地域においては利用頻度が高くなかなか借りられない状況にあるため、どうかしてほしい。	平成21年9月議会で学校開放事業では、夜間に運動場を使用するときは照明料を徴収するが、体育館を使用するときは徴収しない(国分地区)。平等ではないのではないか。

事務事業 コード	772213	事務 事業名	学校体育施設開故事業				担当部	教育部
							担当課	保健体育課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	1,065		1,065	1,276		1,276	1,306		1,306
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	691		691	866		866	874		874
消耗品費	272		272	376		376	384		384
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	419		419	490		490	490		490
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	269		269	270		270	270		270
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450
計	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	2,412 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	2,412 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	772213	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生涯スポーツを推進する上で、身近なスポーツ活動の場を提供・開放することが必要である。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通じ健康づくり・仲間づくりをする身近なスポーツ活動の場として利用しているため、公共関与は必要である。また維持管理に要する費用の一部を市が負担することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	身近なスポーツ施設を利用したい全ての市民を対象とした事業であるため、現在のままで妥当である。また、スポーツ活動の場の提供を意図としており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	より多くの団体に本事業を活用してもらうことで、成果が向上する。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	300団体以上の利用があり、学校によってはほぼ毎日利用があるため、廃止・休止した場合多くの市民がスポーツをする場がなくなるため影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費としては、各学校へ施設の維持管理に要する消耗品費の8千円と管理指導員へ1日あたり150円の報償費を支払っているが、これ以上の削減はできない。
C 効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	管理指導員への年1回の謝金支払いが主な業務内容であり削減や外部委託の余地はない。
	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	定期的に利用する市民を対象に開放しているため一部の受益者に偏ってはいない。しかし、使用料について合併以前のままで、同じ施設を利用しても使用料の違いがある。

D 公平性 評価	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成22年度(3月議会)で体育館内の使用料について統一が出来たことは、公平性が図られたと考えるが、夜間照明(屋外)について今後検討を行う必要がある。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 新設天降川小学校を含めた学校体育施設の開放を積極的に行い、市民がスポーツ活動を行う上での環境を確保する。使用料は一部(夜間照明)を除き、10月から統一される。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 霧島市として学校体育施設開放事業の夜間照明の取り扱いについて、統一した見解又は考え方が必要である。国分地区の各地区自治公民館への委託については、電気料等の不均一化がでる。市で一括管理を行えば、市が行う業務量が増加し、各地区自治公民館も使い勝手が悪くなる。

事務事業コード	772218	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ振興法
	コード	772218			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

総合型スポーツクラブは、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境づくりを展開する団体であり、現在舞鶴中学校・単人体育館を拠点とし、2つのスポーツクラブが、講座やイベント等を行っている。補助については、各クラブの運営状況を見ながら協議していく。
 ・スポーツクラブへの入会申込みは下記のクラブへ直接申し込む。
 国分舞鶴スポーツクラブ事務局(舞鶴中学校内)TEL46-8311
 NPO法人単人錦江スポーツクラブ事務局(霧島市単人体育館2階)TEL55-0188

補助金・負担金の交付先	国分舞鶴スポーツクラブ・NPO法人単人錦江スポーツクラブ	補助金の対象経費	総合型地域スポーツクラブの運営に要する経費				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	クラブによるスポーツ教室の開催回数等	回	1,585	1,809	1,900	2,000	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	気軽にスポーツを楽しむ地域住民が増える	スポーツクラブ会員数	人	1,346	1,623	1,700	1,800
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術活動を行う環境が整う	スポーツを行う環境が整っているとする市民の割合	%	42.9	42.7	42.0	43.0
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	2,668	平成12年度に当時の文部省が制定した「スポーツ振興基本計画」において地域に密着した住民主体のスポーツ活動への転換が示され、地域を拠点としたスポーツ活動を展開するためクラブ設立に向けての取り組みが始まった。(国分:H18、単人:H15設立)	全国でクラブ設立に向けての取り組みがなされ、地域に密着したスポーツ活動が展開されてきた。	
	補正予算額				
	予算合計	2,668			
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,900			
	支出合計	1,900			
			スポーツクラブより、環境整備(クラブハウスの設置)、クラブとの係わり等について、もっと連携を取り、指導を行うべきとの意見がある。	市のスポーツ振興基本計画を策定し、総合型の位置付けをしてほしい。(H22第1回)	

事務事業 コード	772218	事務 事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	国分舞鶴スポーツクラブ									321 人	補助金	1,500	補助金	1,200	補助金	1,200
										自主財源	13,947	自主財源	15,924	自主財源	16,000	
			○							合計	15,447	合計	17,124	合計	17,200	
										自主財源率	90%	自主財源率	93%	自主財源率	93%	
2	NPO法人隼人錦江スポーツクラブ									1,302 人	補助金	400	補助金		補助金	
										自主財源	11,827	自主財源		自主財源		
										合計	12,227	合計		合計		
										自主財源率	97%	自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										1,623 人	補助金負担金合計	1,900	補助金負担金合計	1,200	補助金負担金合計	1,200
											自主財源合計	25,774	自主財源合計	15,924	自主財源合計	16,000
											自主財源率	93%	自主財源率	93%	自主財源率	93%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
										合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,668
補正予算	
合計	2,668

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツクラブへの支援は、地域で日常的なスポーツを気軽に楽しむ種の環境づくりを支援するものである。スポーツクラブが地域に溶け込むことによりスポーツを楽しめる環境が整うため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	企業・行政が仕掛けるスポーツ活動から地域に密着した住民主体のスポーツ理解へと転換する施策が国から示され、これを行政が支援することは妥当である。総合型地域スポーツクラブの設立当初は、会員も少なく安定的な収入確保ができないため運営面での支援が必要である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内に2つのスポーツクラブがあり、現在その2団体の会員を対象としているため対象・意図は適切と思われる。今後、他の地域においてスポーツクラブが発足した場合、対象拡充するべきと考える。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	クラブが安定した財政基盤を維持し続けるためには、会費の継続収入が最も重要である。クラブを維持しつづけていくためには広報活動を継続し新規会員獲得及び継続会員の確保に努力しなければならない、努力し続けることで成果の現状水準は向上するものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金を廃止することで運営費が削減されるため、安定した会員数が確保できなければクラブそのものに影響があると思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	毎年会員数は増加しており、安定的な会費収入が確保されることで補助金の削減は可能である。(但し3年後(H24年度)は運営状況による再検討が必要である。)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	クラブ自身が安定財産基盤を整え自主運営が可能となればこれまで市職員が行ってきた補助金等に関する事務が不要となり人件費は大幅に削減される。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	補助金はクラブを育成するための補助金であり、補助金及び会費によりクラブは様々なスポーツ環境を整えている。クラブは市内に2地区しかないが、受益者は会費を払うことでスポーツを楽しむ機会を得ているため公平性は確保されていると思われる。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 総合型スポーツクラブは文部科学省が「スポーツ振興計画」の中で必要性和市町村での位置付けが示されており、地域住民の健康づくり及び生涯スポーツには必要不可欠なものとされておりまして他地区での展開も考えていかなければならない。また、補助金については、現在2団体へ助成しているが運営状況等をみながら検討していく必要がある。なお、行政としても運営面でもう一步踏み込んだ支援が必要であると考え。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
補助金については、隼人錦江スポーツクラブ、国分舞鶴スポーツクラブの運営状況を見ながら予算の範囲内で補助していく。また、未設置地区についての必要性等について、研究を行う。	補助金については、国分舞鶴スポーツクラブの運営状況を検証し、H24年度以降の補助について検討を行う。また、基盤強化のための事業の導入等について、協議を行う。なお、未設置地区については、H22年度の結果を受け、設置等についての協議を行う。

事務事業コード	772210	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年頃~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772210				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
・目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。 ・内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施 ・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団1団(市スポ少1,000円)であり、22年度の団登録受付期間は4月21日～5月31日まで、追加登録受付期間は6月1日～7月17日までである。 ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給 ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等 ・スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加 ・スポーツ少年団事務局の窓口 霧島市教育委員会 保健体育課								
補助金・負担金の交付先	霧島市スポーツ少年団			補助金の対象経費	霧島市スポーツ少年団の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回			3	4	4	4
イ	競技種目数	種目			14	14	14	14
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市スポーツ少年団員	登録団員数		人	1,936	1,965	1,650	1,650
イ	霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数		団	98	95	95	95
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数		人	未把握	未把握	825	825
イ	奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数		人	173	266	270	270
ウ	スポーツへの関心度が向上する	スポーツへの関心度が高まった割合		%	未把握	未把握	80	90
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツ活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	スポーツ団体・組織の数		団	213	128	145	145
イ								

(2) 事業費 単位：千円			(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？		
予算額	当初予算額	1,904			きっかけは、スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。	少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。
	補正及び流用	365				
	予算合計	2,269				
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,269				
	支出合計	2,269				
			競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。	特になし		

事務事業 コード	772210	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	補助金	2,269	補助金	1,865	補助金	1,865	自主財源	666	自主財源		391	自主財源	391			
霧島市スポーツ少年団										合計	2,935	合計	2,256	合計	2,256	
	対象地区	●									自主財源率	23%	自主財源率	17%	自主財源率	17%
2										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計											補助金負担金合計	2,269	補助金負担金合計	1,865	補助金負担金合計	1,865
											自主財源合計	666	自主財源合計	391	自主財源合計	391
											自主財源率	23%	自主財源率	17%	自主財源率	17%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名			負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	全国	九州	県					その他				
2				負担金額								
3				負担金額								
4				負担金額								
5				負担金額								
合計												

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	1,904
補正及び流用	365
合計	2,269

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		流用	(2月)
第3回		第6回			365

事務事業コード	772210	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ団体の育成として政策体系に結びついている。また、奉仕活動やスポーツへ関心を持つことで、団体に所属し、様々なイベントを通し、親睦を図り、仲間を増やすことができるので、意図することが結果に結びついている。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	子供の基礎体力の低下やいじめなどが今日の社会問題になっているため、目的である健全な心身の鍛錬のために市が行うべきである。そのために交歓大会やその他スポーツ大会を実施するため、費用が必要になる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	スポーツ少年団員を対象としているが、指導者の育成も視野にいられているため、対象に追加すべきかの検討を行ったが、指導者協議会は自発的育成母集団であり、別途事業として捉えるべきであるため本事業では、現対象・意図で適切であると判断した。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	21年度の団員登録実績は、市内の全児童・生徒の約10分の1である。少子化を考えた場合、今後は団員数の増は余り望めない。しかし、成果指標として、団員の登録割合を入れて考えれば、成果向上の余地が出てくるのではないかと。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	少年期の育成で、体力向上や親睦を図り仲間を増やすことは成長していく中で大切なことである。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を少なくしてしまうこととなり、目的である健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	少年団育成のための補助金であり、削減することで健全育成に要する費用も同時に削減しなければならなくなるため、成果は下がることになり、現時点で削減は困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	日本スポーツ少年団や鹿児島県スポーツ少年団との連携や市内の各施設や各競技団体との連携、大会等の把握など調整事務が多く、委託するより職員が行ったほうが効率が良い。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 少子化により団員増は厳しい状況にあるが、その中で団員数の増が図られたことは評価できるものとする。また、補助金についても年々減少させているが、運営を考えるとこれ以上の削減は厳しい状況である。今後は今まで以上の指導者協議会との連携が必要となる。
	A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
団体へ補助金を交付し、団員の交流の場づくりを支援することで、競技の枠を超えた交流が促進できる。	指導者を対象に加え、研修会の開催に力を入れる。

事務事業コード	772212	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 30 年頃~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772212				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
県予選を勝抜き、九州大会・全国大会への出場が決定しているチーム又は、県選抜の一員として九州大会・全国大会への出場が決定している個人へ補助金を支給する。 ・補助の対象 (1)市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、財団法人日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)(2)市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体(財団法人全国高等学校体育連盟加盟校の部活動、財団法人日本高等学校野球連盟加盟校の野球部を除く。)(3)前(2)に掲げるもの意外に市長が交付対象と認めるもの及び団体 (4)(1),(2)に規定する児童並びに生徒の引率者(最低人員) (5)補欠として出場する場合は、その出場する大会要綱等に定められた補欠人員。 ・補助金の額 九州大会(団体)30,000円、(個人)5,000円 全国大会(団体)50,000円、(個人)10,000円 県内開催時(団体)10,000円、(個人)3,000円・九州・全国大会が県内開催時の場合(平成22年度から成果指標を変更する。)							
補助金・負担金の交付先	各種スポーツ大会出場団体・出場者		補助金の対象経費	各種大会出場に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 補助を行った件数			件	28	33	40	45
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 九州・全国大会出場者	九州・全国大会出場チーム		団体	23	25	28	30
イ 九州・全国大会出場者	九州・全国大会出場個人数		人	5	8	12	15
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	補助を行った件数		件	28	33	40	45
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る	スポーツ、芸術文化団体・組織の数		団体	213	128	145	145
イ スポーツ活動に取り組む仲間が増える	団体・組織の会員数		人	15,899	15,675	16,725	17,231

(2)事業費 単位：千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	585	1,086	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	298			
	予算合計	883	1,086		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	883			
支出合計	883			<出場者>⇒予算額を上げてほしい。	特になし

事務事業 コード	772212	事務 事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	補助金								883		補助金	1,086	補助金	925
1	各種スポーツ大会出場団体・出場者								自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	●							合計	883	合計	1,086	合計	925
2									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
3									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
4									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
5									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
6									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
7									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
8									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
9									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
10									補助金		補助金		補助金	
	対象地区								合計		合計		合計	
計								補助金負担金合計	883	補助金負担金合計	1,086	補助金負担金合計	925	
								自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
2				負担金額							
3				負担金額							
4				負担金額							
5				負担金額							
				合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	585
補正予算	298
合計	883

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(2月) 298
第3回		第6回			

事務事業コード	772212	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	九州大会、全国大会出場チームへ補助金を交付することは、選手同士の交流が促進され、スポーツを通じて親睦を深めることに結びつく。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本市民及び本市団体等でスポーツを行う者のうち九州・全国大会等に出場できるすぐれた選手の育成のため補助金を交付するもので、大会参加者の個人負担の軽減及び競技力向上につながるため市が行う必要がある。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在、九州・全国大会への上場者を対象としており、対象範囲は適切と考える。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	当該事業を継続していくことで、市民の間に制度が定着し、スポーツへの関心が高まっていく。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担は増える。努力してつかんだ九州・全国大会へのチャンスを生かすため、参加者に係る個人負担を少しでも軽減させることにより無理なく出場することができる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業については、県予選を勝ち抜いて九州・全国大会へ出場権を得るチーム・個人がほとんどであり、その年で出場者は異なるため事業費の削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	業務時間の削減等については毎年、九州・全国大会への上場件数が違うため削減の余地のある・なしはつけられず、また、事務内容が補助金申請等の事務手続のため委託等はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県予選等を勝ち抜き、九州・全国大会等へ出場する個人・団体であれば誰でも対象となるため公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 九州大会や全国大会出場への目標を持ちスポーツ競技を行うことは、スポーツ振興や競技力向上に結びつくため大切なことである。また、それら大会への上場は霧島市の代表として出場するものであり、その選手がやがては日本代表として活躍すれば、スポーツをする人の励みになり、きっかけづくりへとつながる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 全国、九州大会参加者の支援を行うことで、市民全体のスポーツへの関心が高まることが期待される。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 引き続き、全国、九州大会出場者の支援を行う。

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	溝辺出張所教育振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	教育グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	58-3191
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則
	コード	774214			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p>手段 (事務事業の概要)</p> <p>溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応じている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。 ※溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として旧溝辺町が発足した団体。</p>								
補助金・負担金の交付先	溝辺たかや太鼓保存会			補助金の対象経費	溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	太鼓演奏を披露した回数			回	3	3	3	4
イ								
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	溝辺たかや太鼓保存会会員		補助対象団体の会員数	人	15	15	15	15
イ								
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	自主的に参画する会員を増やすため、団体の魅力を発信する		太鼓演奏を披露した回数	回	3	3	3	4
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る		芸術文化団体・組織の数	団体	244	238	252	253
イ	"		芸術文化団体・組織の会員数	人	4,180	4,077	4,433	4,433

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？		
予算額	当初予算額	30				昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金の交付を開始した。
	補正予算額					
	予算合計	30				
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	30				
	支出合計	30	活動が知られることにより、地域やイベント主催者からの出演依頼がある。	特になし		

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めており、併せて地域おこし、ふるさとづくりに寄与している。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民の地域おこしの一環を支援することは、行政の責務である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	たかや太鼓保存会会員を対象に、団体の魅力を発信することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	太鼓演奏を披露する機会をより多く設け、団体の魅力を発信することで成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助により団体活動の活性化に繋がっているため、廃止により、保存会の衰退していく可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源率も半分を超えており、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付事務と各種イベントへの参加調整のみであり、削減に値するものはない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれる
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		保存会の活性化を図るため、地域の行事などでの発表の機会を確保するなど支援をしていく。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 発表の場を確保して団体の活性化を図る。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 大人の会員増を目指す。

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774216				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
霧島市文化協会に運営費の補助として補助金を支出していると同時に運営の助言を行っている。 霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡協調を図り研さんを深めるために結成している任意団体。霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部文化協会を置き運営を行っている。 【活動内容】 霧島市文化協会:霧島市芸術祭、会報霧島の発行、総会の開催 文化協会支部 :研修会・文化祭の実施、支部文化協会だよりの作成、チャリティショー(単人・国分) 【事務事業】 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言 (平成22年度から成果指標を変更する。)							
補助金・負担金の交付先	霧島市文化協会		補助金の対象経費	霧島市文化協会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	文化協会による文化事業の開催数(文化祭、チャリティショーなど)	回	10	10	10	10	
イ	文化協会による文化事業への参加団体数	団体	249	250	250	250	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	文化協会団体	文化協会団体数	団体	244	238	229	229
イ	文化協会会員	文化協会会員数	人	4,180	4,077	4,050	4,050
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	未把握	未把握	80	85
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	芸術文化団体・組織の数	団体	244	238	252	253
イ	スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	芸術文化団体・組織の会員数	人	4,180	4,077	4,433	4,433

(2)事業費 単位:千円

	21年度(決算)	22年度(予算)
予算額		
当初予算額	2,241	2,017
補正予算額		
予算合計	2,241	2,017
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,241	
支出合計	2,241	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧市町の文化協会は支部として活動を継続している。	地区によっては、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
市の教育出張所の対応が地区によってばらつきがある。(文化協会役員からの意見)	特になし

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とした文化活動を日常生活の中に積極的に取り入れてもらうことは、芸術文化の振興につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とする文化団体に市が支援することは霧島市の芸術文化向上に寄与していることから妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	文化協会会員、団体を対象として、意図は充実した文化活動を行うとしており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化協会等の組織の充実を図り、積極的な文化活動を展開し、新たな会員や新規団体の掘り起こしを行う。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化活動の停滞や地域の文化活動の担い手が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	会費の値上げや自主財源の確保により、事業費の削減は可能である。しかし会費の値上げは協会から退会する可能性がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化協会は事務局を設け、文化協会の運営に関する事務は全て協会で行っている。職員の業務としては、補助金の交付と文化祭等の主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全体的に積極的な活動がなされ、運営も自立している。しかしながら、会員の高齢化が進みつつあり、今後は若年層の会員介入促進が課題と思われる。	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島市文化協会においては、霧島市芸術祭の実施、会報「きりしま」の刊行。 ・各支部においては、文化祭、チャリティーショー等の実施。 ・積極的な文化活動を展開することにより、組織の充実と新たな会員や新規団体の掘り起こしにつながる。	・霧島市芸術祭や文化祭、チャリティーショー等の充実を図る。 ・事業費の有効活用や、会費の見直しについて協会に働きかけを行っていきたい。